



ほけんだより

1月号

2024年1月4日 発行
ゆらりん白金保育園
看護師 小島

あけましておめでとうございます。

吐く息も白く寒さも厳しくなり、冬の感染症の流行時期にもなります。子どもたちが、毎日元気に登園できるように食事、運動、睡眠のバランスを大切にしていきましょう。園でも「手洗いうがいを必ずする」を習慣にして免疫力が高められるよう保健衛生に努めていきたいと思えます。本年もよろしくお願い致します。

< 1月の保健行事予定 >

9日(火) 9:30~
3・4・5歳児、身体測定
14:45~

10日(水) 9:30~
0・1・2歳児、身体測定

23日(火) 0歳児、園医健診

- 保健指導：4・5歳児クラスは、安全行動シートのグループワーク
- 1歳児：初めての手洗い指導

< 園での感染症 >

咽頭結膜熱 : 5名
インフルエンザA型 : 2名
感染性胃腸炎 : 3名

園では、発熱、咳、鼻汁の症状でのお休みも見られました。地域では、アデノウイルス、溶連菌感染症、12月中旬から感染性胃腸炎も広がりが見られています。12月末に発熱やインフルエンザ、感染性胃腸炎の発生がありました。

風邪症状の到来

胃腸炎、RSウイルス、インフルエンザとこれから油断できない時期です。園での感染症は掲示にてお伝えしていきます。集団感染を少しでも防ぐように症状の強いときには受診や休養をとるようにご協力をお願い致します。

●咳エチケット

咳やくしゃみをする時は、病気が広がらないよう周囲への配慮が必要です。咳エチケットを守り、感染を防ぎましょう。



- 咳、くしゃみをする時はティッシュペーパーで鼻や口を押さえ（もしくは自分の腕で口を覆い周りの人を選んで行いましょう。



- マスクをして、他の人にうつさないようにしましょう。



- 鼻をかんだ後のティッシュペーパーは、すぐにゴミ箱でできれば付付きに捨てましょう。

冬のあせも・とびひ

あせもやとびひと言え、夏場のイメージが強いですが、最近は暖房や厚着が原因で、冬場でもなる子どもが多いようです。子どもは代謝がよく、たくさん汗をかくので、服装は大人より一枚少なめが基本です。乳児は特におむつの中がむれやすくなるので、上下のつながったタイプの肌着はなるべく避け、時々背中に触れて、汗をかいていないかどうか確認をしましょう。乳幼児期は体温調節が未熟で冬には肌の乾燥もでてきますが、しっかり汗もかいています。

肌着必須！！

素肌には、長さで、着をご用意くだ



お腹の隠れるなるべく綿の肌着をください。